

7 / **ドサンコがほろしんの森を開拓****2 ほろしん自然学校設立に向けて**

沼田町は化石体験館に隣接する敷地に校舎を建てずに野外授業が行える自然学校を2023年に設立を目指しており、現在未開発の予定地に道南からドサンコを3頭借り受けササを食べてもらったり、道を踏み固めたりする整備を進めています。

自然学校の設立により様々な学びを提供し、町外から人を呼び込み関係人口の増加を目指していきます。

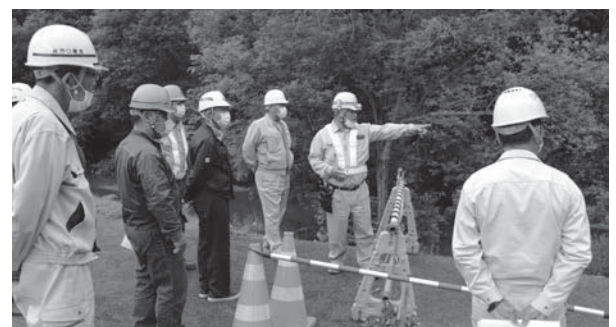
7 / **にっこりプロジェクト****2 金滴酒造株式会社から酒かすのプレゼント**

新型コロナウイルスの影響で落ち込む地域を元気づけようと「にっこりプロジェクト」と銘打たれた取り組みを行っている金滴酒造株式会社の名取重和代表取締役社長から和風園、旭寿園、なごみの福祉施設に酒かすのプレゼントがありました。

7月2日（木）沼田町を訪れた名取社長から3つの施設に合わせて11kgの酒かすがプレゼントされ、和風園では利用者へ提供される料理に、旭寿園では甘酒として振る舞われました。

7 / **現場の安全第一を確保****2 労働災害防止現場安全パトロール**

7月2日（木）沼田建設業協会（臼井有一会長）の会員9名が工事現場の労働災害安全防止施策の一環として現場安全パトロールを実施しました。ほろしん温泉周辺の3か所の工事現場に赴き、各現場でどのような作業が行われているかを情報共有し、作業場や周囲の安全がしっかり確保できているかを入念にチェックしました。



## 7/5 つながりマルシェで北海道を元気に るみるみ号が各地の特産品を販売

札幌を拠点に活躍する女性ものまね芸人“るみるみ”こと大島留美子さんが、新型コロナウイルスの影響で様々な産業が影響を受けた北海道を元気にしようと道内各地の特産品約30種類を持ち込んだ「つながりマルシェ」が7月5日（日）高田車輛（市内5）前で行われました。

軽自動車一杯に積み込まれた各地の特産品を多くの町民が買い求める姿に、るみるみさんは「賑やかに楽しんでってもらい北海道が少しでも元気になってほしい」と話し、来場者との会話を楽しんでいました。



## 7/8 マイナンバーカードはお持ちですか マイナンバーカード臨時窓口開設

平日の時間内に役場に来られない方のマイナンバーカードの交付、マイナポイントの予約、マイナンバーカードに関するご相談を受ける「マイナンバーカード臨時窓口」を7月8日（水）午後5時30分から開設しました。

この日は6人が窓口を訪れ、マイナンバーカードの申請方法やマイナポイントについてなどの質問を窓口担当者にしていました。

なおこの臨時窓口は、継続して開催していく予定で8月の予定は下記のとおりです。

- ・ 8月19日（水）午後5時30分から午後7時30分
- ・ 8月22日（土）午前9時から午後3時

場所はいずれも役場1階住民生活課（役場正面入って左側窓口）

※今後の予定は広報お知らせ版でお知らせいたします。



## 7/8 窓口に華やかになりました 北空知花き生産組合からお花のプレゼント

北育ち元気村花き生産組合（田村昌之組合長）が、新型コロナウイルスの感染拡大によりイベントの中止が相次ぎ、花の市場価格が大きく下落するなど花卉生産の業界に元気が無く、地域に住む方々にも元気になってもらいたいと7月8日（水）役場とJ A北いぶき沼田支所に「生花リレー」と称したダリアやスターチスなど数種類の花で彩られた生花のプレゼントがありました。

この日役場を訪れた室田健一さん（沼田花き生産組合長）は「コロナ疲れの中、花の持つ癒しの魅力で元気になってもらいたい」と話し、受け取った横山町長は「この綺麗な花のように、まちも明るくなってほしい」と述べました。



## 7/10 万が一の時のために 新型コロナウイルス感染症対応研修会

7月10日（金）町の介護職員を対象にした、万が一利用者が新型コロナウイルスに感染した場合の正しい対処法について、深川市立病院の感染管理認定看護師である齊藤昌昭氏を講師に招き学びました。

研修会では座学を通して感染症対策について学び、その後感染者への介護の際に使用する个人防护具（ガウンやグローブ等）の着脱の順序や方法についての訓練をしました。参加者は慣れないフェイスシールドの組み立てや複雑な个人防护具の着脱手順に苦戦しており、今回の研修の重要性が垣間見えました。



## 7/10 平和な世の中を願い 令和2年度戦没者慰霊祭が行われました

7月10日（金）令和2年度戦没者慰霊祭が沼田神社忠魂碑前で高橋節男沼田町遺族会々長らを招いて行われました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から毎年行っている招魂祭を縮小し献花方式の開催で、終戦から75年を迎え横山町長は「今こうして平和なのは戦争で亡くなられた方々の尊い犠牲とそのご遺族の皆さまの苦労の上に築かれたものであることを忘れません。2度と戦争がおこらない平和な世の中であることを願いたい」と挨拶しました。



## 7/18 健康測定結果に期待 沼田町の資源で健康づくり

地方創生包括連携協定を結んでいるカネカ㈱（菅原公一代表取締役会長）と連携し沼田町の地域資源である「温泉」「トマトジュース」を活用した町民向けの「地域資源を活用した健康ブランド事業」が7月18日（土）始まりました。

モニターに応募された60名以上が「温泉水」や「トマトジュース」を飲み、3か月後に血圧や悪玉コレステロールが減少しているかを調査する事業です。

モニター参加者はこの日、採血や体力測定を行い、参加した40代男性は「健康づくりのきっかけにちょうど良かった。健康になりたい」と話していました。

モニター参加者は10月に健康測定を行います。



## 7/20 いつまでも元気に暮らせるように いきいき大学開講式

教育委員会主催の「令和2年度いきいき大学」が7月20日（月）開講しました。

開講式には31名が参加し、吉田教育長から「国は2040年までに健康寿命を3才伸ばすと言っている。目標をもった事業にしていきたい」と開講の挨拶がありました。

今年は新型コロナウイルス感染予防の関係で例年と講座内容を変更しての開催となりますが、12月までの間に計4回の講演会などを行う予定です。



## 7/22 就職先はぜひ沼田町で クラーク高校で沼田町の事業所紹介

沼田町の事業所を知ってもらい雇用確保に繋げることを目的に7月22日（水）クラーク記念国際高校（深川市）で企業合同説明会を開催しました。

今回参加したのは「JA北いぶき」「和風園」「旭寿園」の3事業所です。

冒頭横山町長から「情熱は困難を可能にし、夢に向かってチャレンジするほど夢は実現する」と生徒に向けて熱いメッセージが送られ、その後3事業所からそれぞれ仕事の内容など事業所の紹介を行い、生徒たちは真剣なまなざしで説明を聞いていました。



## 7/23-25 今年初めての公式戦 沼田町体育協会長杯争奪スポーツ大会

新型コロナウイルスの影響で中体連が中止になったことを受け、沼田町体育協会（伊藤淳会長）が野球とバレーボールの代替大会を7月23日（木）から7月25日（土）に開催しました。

沼田町の保護者が中心となり実行委員会を結成し、空知や留萌管内から野球には12団体、バレーボールには7団体が出場しました。

野球の大会で声援を送った沼田中学校の飯塚博明教頭は「今年初めての公式戦で3年生には頑張ってもらいたい。中体連が無くなってもこのような大会を用意してくれた方に深く感謝したい」と話していました。



## 7 / 季節はずれの桜満開 23 真夏にお花見「雪氷桜」お披露目

道内34市町村から寄せられ沼田町の雪室に貯蔵していた、本来東京オリンピック・パラリンピックで飾られる予定だった3,200本の桜の枝の中から約500本の桜を展示した「雪氷桜」のお披露目を7月23日（木）から26日（日）まで、ほろしん温泉ほたる館とまちなかほっとタウンで行いました。

ほたる館口ビーには美しく飾られた桜がライトアップされており、新聞の記事を見て札幌から来たご家族は「こんな時期に桜は、めずらしいよね。ここまで来たかいがあったね」と喜んでいました。

また、玄関横には「真夏の雪あそび」というコーナーが設けられ、子供たちが真夏の雪遊びに夢中になっていました。（表紙写真）



## 北海道中学野球選抜大会で町民球場が会場に

8/29（土）～8/30（日）まで第1回北海道中学軟式野球選抜大会の第二会場として沼田町雨竜川総合運動公園町民球場が選ばれました。沼田中学校の野球部からも道北ブロック（上川）選抜チームとして中学3年生の4名の選手（写真右から柴田亮弥選手・岩井櫻空選手・臼井孝介選手・畑地英選手）が選出され大会に出場します。

沼田中学校野球部の柴田亮弥主将は「新型コロナウイルスの影響で中体連等の大会が無くなり、野球をプレイできる機会が減ったが、今回選抜されて野球ができる機会が増えたのでとてもうれしい。大会では精一杯がんばりたい」と話していました。



## クラウド 15 号のオリジナルピンバッジを進呈

共同募金委員会（松田剛会長）は赤い羽根共同募金に500円以上寄附してくれた方にオリジナルのピンバッジ（500個限定）を進呈しています。

今年のデザインは昨年日本遺産に認定された「炭鉄港」の構成文化財となった「クラウド15号蒸気機関車」がモチーフとなっています。

募金会場は暮らしの安心センター・沼田町商工会・ほろしん温泉ほたる館・化石体験館の4か所に設置されており、11月末まで実施しています。



## 表彰 吉田好宏氏に旭日単光章を伝達

7月8日（水）元町議会議員で議長も務められた吉田好宏氏（高穂2）に横山町長から旭日単光章が伝達されました。

吉田さんは平成3年から4期16年間議会議員、そのうち8年間議長を務められ、そのほか農業委員や公平委員など様々な公職も歴任されました。

伝達式で吉田さんは「今回のこの受章は私の力ではなく、多くの方のご指導のお陰です。ありがとうございます」と語られました。

また吉田さんから、まちづくりに役立ててほしいと100万円の寄附がありました。なお平成19年に名誉町民の称号を贈られた際にも300万円の寄附をいただいております。



## 表彰 徳盛透氏に 自衛官志願推進協議会道北連合会々長表彰

7月14日（火）北空知地区自衛官志願推進協議会会員の徳盛透氏（仲町東）が長年、自衛官募集の重要性を理解し、旭川協力本部の組織的募集の推進に貢献したとして、自衛官志願推進協議会道北連合会々長表彰を坪田邦光北空知地区自衛官志願推進協議会々長から伝達されました。

沼田町には現在3名の会員がおり、日々自衛官勧誘のため活動されています。



## 表彰 絵内勝己氏に藍綬褒章

7月16日（木）平成8年から保護司を務められている絵内勝己氏（北竜3）に藍綬褒章が、法務省旭川観察所の本平利幸所長から伝達されました。

長年保護司としてご尽力され、現在は深川地区保護司会で理事の役職にも就かれています。

伝達式で絵内氏は「このようなありがたい章をいただき感謝します。今後も世の中の役に立ちたい」と話していました。

